

富士見市立放課後児童クラブ指定管理者変更に伴う利用者説明会
質疑応答の記録 【みずほ台放課後児童クラブ】

日 時：令和8年2月7日（土）午後1時00分～

会 場：みずほ台小学校体育館

出席者：富士見市保育課、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社

Q：求人サイトでシダックスの新規募集があり、未経験、ブランクOKとなっていたが責任者にあてることはないか

A：未経験者を責任者にすることはしない。採用面接の中で確認し、配置が可能か判断する

Q：動画はよかったが、子どもが動揺しないか心配。今の支援員が安心できる条件で転籍してもらえるようにしてほしい

A：今いる方にはぜひ継続してほしい。市とシダックスで協議し、有期雇用を当初から無期雇用、有給休暇は引き継げないが前倒しをして付与するなど対応した。

Q：福利厚生が下がるのではないか

A：内容によっては下回るものはあると思うが、極力そうならないよう引き続きお願いしていく

Q：子ども同士のもめ事があった場合、シダックスの支援員は何も対応してくれないと聞いたが本当か

A：双方の話を聞いたうえで解決に向けて対応に当たっている

Q：手作りおやつは引き継がれるのか

A：手作りおやつは保健所の許可が必要。衛生基準を守って、できることはやりたい。これまでの対応も事業団に確認していく

Q：クラブから習い事への送り出しはこれまで通りか

A：これまでの対応を基本的に引き継ぐ。確認して取り組む

Q：指定管理者は5年後に変わる可能性はあるのか

A：今の段階ではわからないが、他市でシダックスが高い更新率で継続していることを確認している

Q：配慮が必要な児童を含め、何人配置が必要と考えているか

A：引継ぎで確認しながら対応する。配慮が必要な児童のための人員確保には予算確保も行っていく

Q：シダックスには最低ベースではなく、今より充実してほしい

A：子ども達の様子をみながら対応していきたい

Q：保育方針が変わってしまうのか

A：原則は子どもが安心して生活できる場を提供していく

Q：職員体制はいつわかるのか

A：現在、一人一人に条件通知を発送している。3月中旬には配置が決定する予定

Q：新しい社員への研修は

A：3月20日（金）に入社時研修を予定している

Q：支援員は転籍ではなく事業団から出向という扱いでは

A：転籍となる。他市でも同様の対応をしている

Q：離職率は

A：定着率が85%。中には面談をして異動を希望する方もいる

Q：配慮が必要な子への対応で支援員へのサポートを具体的に

A：その子に応じた対応が必要。キッズサポートチームの職員が各クラブを回り、職員と話し、保護者面談も必要に応じて対応していく

Q：配慮が必要な子は環境の変化に敏感であるため、調理員の応援の話もあったが今の支援員の継続雇用を望んでいる

A：調理員の応援はあくまで長期休業期間中の時の話で、夏・冬・春休みには同じ方に応援に入ってもらうように調整する

Q：みずほ台は1・2クラブで140人。体制的に職員は確保できているのか

A：過密対策は学校の協力をいただきながら体育館などを利用させていただく。また、民設民営などの手段も考えていかなければならないと考えている

Q：子どもが今までできたことはできるようにしてほしい

A：15日までの利用者説明会以降に各クラブを訪問し意見を伺い、運営に反映していきたい

Q：全国のクラブと繋がって遊ぶ紹介があったが、少人数でないとできないのではないか

A：参加したい子は参加し、外で遊びたい子は外で遊ぶなど、柔軟に対応していく